

平成26年度（平成25年度決算）

# みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

## 平成26年度（平成25年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

### 【学校教育課】

事業名	ページ数
○ みやき町学校ICT機器整備事業	1
○ 義務教育施設環境整備事業	2
○ 学校施設改修事業	3
○ 進・魅力ある学校づくり推進事業	4
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	5
○ 運動部活動地域連携再構築事業	6
○ 外国青年招致事業	7
○ JFAこころのプロジェクト事業	8
○ 小学校・中学校WindowsXP対策事業	9
○ 教育委員会活動事業	10
○ 特別支援教育支援員配置事業	11
○ スクールカウンセラー事業	12
○ 学力向上支援体制確立対策事業	13
○ ICT支援体制確立対策事業	14
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	15
○ 育英資金貸付基金事業	16
○ 学校給食センター事業	17

### 【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 放課後児童健全育成事業	18
○ 放課後児童クラブ施設整備事業	19
○ 青少年健全育成事業	20
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	21
○ 放課後子ども教室事業	22
○ 生涯学習事業	23
○ 図書館事業	24
○ 文化財保護事業	25
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	26
○ 町体育協会補助事業	27
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	28
○ 各種スポーツ大会等開催事業	29
○ 北茂安B&G海洋センター教室開催等事業	30

事業名	みやき町学校 ICT 機器整備事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	委員会費			
事業費 (千円)	440,475	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
					418,400		22,075
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校施設・設備の充実 (ICT 教育の推進)					
事業の内容等	タブレット端末や電子黒板など ICT 機器を用いた先進的な教育が行える環境を整える。						
事業の実績等	<p>○ICT 教育の環境基盤を整えるため、各小・中学校と中原庁舎を結ぶネットワークを新設した。サーバーは従来各小中学校に配置していたが、中原庁舎に集約した。</p> <p>○無線 LAN アクセスポイントを全普通教室・特別教室に配置。</p> <p>○整備機器は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板 130台</li> <li>・タブレット 648台</li> <li>・書画カメラ 172台</li> <li>・管理用パソコン 21台</li> <li>・その他教育用アプリケーション</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	平成25年度9月より、教育用の ICT 機器の運用を開始した。授業で積極的に活用されており、必要不可欠なものとなっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後は継続的に利用していくための、機器更新の経費の確保や、一人一台ずつがタブレットを持つことの必要性を検討していく。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	タブレットの配置は生徒一人に一台は必要ではないのか。 教員の ICT 機器の使用習熟度を上げ、またデジタル教材を充実しないと効果がないのではないのか。 機器ばかりを使っていると読む・書くという力が身につかないのではないのか。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	ICT 機器はおおむね整備できたが、タブレット端末の一人一台の配置については利用状況や学校の現状を把握しながら検討したい。また、ICT 機器の利用について、より効果的な活用ができるよう教員の能力アップを図るための研修会や事例発表会を実施したい。ICT 機器を利用したうえで読み・書きがおろそかにならないよう十分な時間をとり指導できるようにしていきたい。						

事業名	義務教育施設環境整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		事務局費	
事業費 (千円)	107,395	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			34,170		71,200		2,025
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	町内全小・中学校へのトイレの洋式化による児童生徒の学習環境の充実を図る。						
事業の実績等	町立の小学校、中学校のトイレ洋式化を行った。 学校別設置数 中原小学校 51基 北茂安小学校 54基 三根東小学校 18基 三根西小学校 24基 中原中学校 29基 北茂安中学校 23基 三根中学校 4基 計 203基						
事業の成果等	自己評価	計画通り完了しました。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	6,590	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							6,590
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	学校施設の老朽化に対し改修を行う。						
事業の実績等	三根西小学校排水側溝改修工事 三根西小学校受水槽及び揚水ポンプ取替え工事 三根東小学校消防施設改修工事 北茂安小学校体育館照明昇降機取替工事 中原小学校非常放送施設改修工事						
事業の成果等	自己評価	三根西小学校他4工事は、施設の老朽化改修で児童生徒利用の安全確保と教育環境の充実を図ることができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	計画的な改修が必要ではないのか。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	老朽化による緊急的な改修が必要な場合もあるが、文科省の方針に基づき大規模改修等を行いながら学校建設後70年間の長寿命化を図れるよう計画的な改修を検討しながら随時必要な対応をおこないたい。						

事業名	進・魅力ある学校づくり推進事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費・中学校費			
事業費 (千円)	950	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				475			475
基本方針	重点目標	心豊かに、自ら学ぶ力を高める学校づくりを目指す					
	主要施策	学力向上、地域交流を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	<p>北茂安小学校では、考えを広げ深める言語活動を通して、学力の向上を図る。三根西小学校では、言葉を大切にして確かに読むことのできる児童の育成を図る。中原中学校では、学習規律・生活規律を定着させ、主体的に学ぶ生徒を育成する。北茂安中学校では、確かな学力の定着をはかり「学び合い」学習の促進を図る。全学校で、ICT利活用による学力の向上を図る。</p>						
事業の実績等	<p>事業実施校：北茂安小学校・三根西小学校・中原中学校・北茂安中学校（全校単年事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北茂安小学校 児童の実態分析や、言語環境の充実、「伝え合う活動」の基本的なスキル育成などをおして、学力の向上を図ることができた。</li> <li>・三根西小学校 校内研究の取り組みやICTの効果的な利用によって、学力面において興味関心・学力の向上につながった。</li> <li>・中原中学校 生徒のグループ学習実施を目的に教職員研修や先進校への視察を実施することにより、生徒の学習意欲、学力向上を図ることができた。</li> <li>・北茂安中学校 生徒の確かな学力の定着を目的に、学習指導のあり方のための教職員研修や生徒相互間の学び合いを実施することにより、生徒の学力向上や生活態度の適正化を図ることができた。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	子ども達に対する指導事業の取組みについては、ほぼ当初の目標を達成したと考えている。また、ICT教育を活用して興味関心を高め、意欲向上を図ることができた。今後は、本事業内容の継続を図り、より一層の指導力向上を進めて行きたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	原子力エネルギー教育支援事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	小学校費		
事業費 (千円)	243	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				243			
基本方針	重点目標	身近なエネルギーに対する知識の習得を目指す					
	主要施策	エネルギー供給や仕組みの学習を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	特定学年の授業において、エネルギー館の見学や実験器具を通じて、エネルギー供給の仕組み等の知識の習得を図った。						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校</p> <p>事業実施年数：単年申請の5年目</p> <p>① 九州エネルギー館見学（6年生）</p> <p>② 放射線検知装置</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>本事業補助金により施設見学や実験器具を活用して、子ども達にエネルギーの発生や供給の仕組みについて、教科書だけの学習より、より良い学習を行なうことができた。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	運動部活動地域連携再構築事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	中学校費		
事業費 (千円)	605	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				605			
基本方針	重点目標	外部指導者を活用して、スポーツ技術等の習得を目指す					
	主要施策	体育授業や運動部活動において、基本的、専門的な指導強化を図る					
事業の内容等	中学校における運動部活動において、専門的な外部指導者を活用して、学校教諭で補えない基本的・専門的な技術の習得を図る。						
事業の実績等	事業実施校：町内3中学校（運動部活動） 事業実施年数：単年申請の5年目						
	① 中原中学校・・・運動部活動（剣道、柔道、卓球、バレーボール）回数各27回 ② 北茂安中学校・・・運動部活動（陸上、野球）回数各27回 ③ 三根中学校・・・運動部活動（卓球、バスケットボール）回数各27回  ○ 県の直営事業（県予算で直接支出）						
事業の成果等	自己評価	中学校においては、全ての運動部活に専門的指導ができる教員が顧問になれない問題があるため、専門的技術を有する外部指導者の指導により、子ども達に基本的、専門的技術を習得させることができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項  部活中に外部指導者に事故やけががあった時の対応はどうするのか。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	正規の外部指導者には保険をかけており、学校体育の指導者として県の研修会にも参加してもらっている。						



事業名	外国青年招致事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	外国青年招致事業費		
事業費 (千円)	13,237	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						135	13,102
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内中学校に外国人指導者（ALT）を雇用して、中学校における英語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語体験学習での指導を行ない、子ども達の外国語学力の向上と異国文化の知識習得を図る。また、8月より三根中学校は専門業者への委託事業に移行した。						
事業の実績等	<p>雇用ALT：米国男性1名・フィリピン1名（北茂安、三根）、米国女性1名（中原）計3名</p> <p>現ALT勤務年数：男性ALT2名2年目と1年目、女性ALT2年目</p> <p>ALT勤務時間：週4.5日勤務のうち、1日を同校区小学校に派遣</p> <p>その他：英語授業以外でも、運動会や文化祭等の学校行事にも協力している。</p>						
事業の成果等	自己	町内ALT3名とも、学校における勤務評価も良好で、ある程度の日本語での会話も出来る。授業時間以外でも子ども達に親しく接しており、「言葉が通じない。」といった固定観念を払拭させ、子ども達の外国語学力向上、並びに学習意欲増進に貢献していると思われる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	JFA こころのプロジェクト事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		事務局費	
事業費 (千円)	1,750	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,750
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	みやき町立小学校					
事業の内容等	公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業により、夢先生をみやき町立小学校に派遣する。						
事業の実績等	<p>1 記念公演 初年度ということで日本サッカー協会とみやき町との調印式を行なうと共に、日本サッカー協会理事北澤 豪 氏による記念講演会を実施</p> <p>2 実施校 みやき町立4小学校（8クラス） 中原小学校・北茂安小学校・三根東小学校・三根西小学校</p> <p>3 対象 第6学年</p> <p>4 派遣講師 水沼 貴史・東 俊介・山下 芳輝・諸隈 直樹・安永 聡太郎 合計5名の講師による授業を1クラス2校時実施</p>						
事業の成果等	自己評価	夢先生に興味を持ちあきらめない気持ちを持つことの大切さを学んだ。児童や教職員からの評価も高く次年度の希望も多かった。実施に伴い計画通りに達成できた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	単年度事業ではなく今後も継続するのか。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	今後も継続して実施したい。						

事業名	小学校・中学校 Windows XP 対策事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
			費目	委員会費		
事業費 (千円)	3,255	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 3,255
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備				
	主要施策	学校施設・設備の充実（ICT教育の推進）				
事業の内容等	<p>町立の小学校・中学校の学習システム・校務システムの運用で使用しているパソコン202台については、オペレーティングシステム（OS）に“WindowsXP”を利用している。このXPについては、平成26年4月8日（日本時間4月9日）で、マイクロソフト社による延長サポートが終了する。</p> <p>このことによって、セキュリティ更新プログラム等が配布されなくなり、新たな『ウイルス』や『サイバー攻撃』などの脅威にさらされる可能性がある。</p> <p>悪意を持ったソフトウェア等から身を守るために、Windows7にOSを更新する。</p>					
事業の実績等	<p>・「WindowsXP 対策委託業務（Win7版）」</p> <p>購入時のバンドルOSとしてWindowsXPが入っていたパソコン202台について、windows8.1アップグレードのライセンスを取得し、windows7のディスクキットによりwindows7にOSを入れ替える。</p> <p>この際、内部メモリを1GBから3GBに増設する。</p> <p>また、個々の校務パソコンにおいて、学習システム・校務系システムがこれまでどおり使用できるよう、学習システム・校務システムの各種アプリケーションの再インストール及びセッティングを行う。</p>					
事業の成果等	自己評価	計画通りに完了した。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分					
評価委員	評価結果	指摘事項				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。				
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等					

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
				費目	委員会費			
事業費 (千円)	1,054	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							1,054	
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進						
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進						
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等							
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校入学式（4/10）・中学校入学式（4/11）・・・教育委員分散しての告辞</li> <li>○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員全員</li> <li>○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 青少年主張会・・・教育委員全員</li> <li>○ 小学校卒業式（3/19）・中学校卒業式（3/14）・・・教育委員分散しての告辞</li> </ul> <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町定例教育委員会（年12回）・町臨時教育委員会（年3回、4月・6月・3月）</li> <li>○ 三神地区教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回）</li> </ul>							
事業の成果等	自己評価	教育委員自身、子どもたちの学校生活を把握できる機会を逃さないように学校行事には、積極的に参加している。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	会議関係では、町定例教育委員会において、付議議案のほかに、佐賀県の教育状況については教育長会資料により、また町内の状況については、校長会・教頭会の資料により確実に情報の共有を図っている状況である。また、県・三神地区の連絡協議会等の研修にも積極的に参加し、意見交換や現在の情報共有ができています。地域の声を聴くため、地区懇談会・PTA等の行事に積極的な参加を行っているところである。						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等							

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																																				
				費目	事務局費																																																						
事業費 (千円)	8,783		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																																			
								8,783																																																			
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進																																																									
	主要施策	特別支援教育の一層の充実																																																									
事業の内容等	小中学校に在籍する障害を持つ児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う。																																																										
事業の実績等	○ 特別支援学級入級者の状況（H25. 5. 1現在）																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>中原中</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>北茂安小</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>北茂安中</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根東</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>三根中</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根西小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>計</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>										学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級	中原小	2	6	1	1	中原中	2	1	0	0	北茂安小	5	4	0	22	北茂安中	1	0	0	0	三根東	2	3	0	0	三根中	1	1	0	0	三根西小	0	0	0	2	計	13	15	1
学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級																																																		
中原小	2	6	1	1	中原中	2	1	0	0																																																		
北茂安小	5	4	0	22	北茂安中	1	0	0	0																																																		
三根東	2	3	0	0	三根中	1	1	0	0																																																		
三根西小	0	0	0	2	計	13	15	1	25																																																		
○ 小学校4校に、1校2名の計8名を配置し、特別支援員の補助生活指導によるきめ細かな生活指導に努めている。																																																											
○ 通級者（まなびの教室）の状況 ・ 中原小学校1名、三根西小学校2名、北茂安小学校22名が、北茂安小学校内通級学級へ週1～2回（1～2時間）程度の通級を行っている。																																																											
事業の成果等	自己評価.	平成22年度より、北茂安小学校に通級学級（学習障害傾向・多動障害傾向等を持つ児童への個別対応教室）を開校した。週1～2回程度、個に応じた教科指導を行うことで、学校生活サポートが的確にできている。また、通常学級においても、支援員が教諭補助員（T2）の役割を行い、個に応じた指導を行っている。特別支援を必要とする児童生徒が年々増す中、学校生活に支障がないようにサポートしていくことが今後も大切だと思われる。増加する生徒数に対応するため25年度から2クラス設置している。																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																																										
評価委員	評価結果	指摘事項																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																																									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																																										

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当			
				費目	事務局費					
事業費 (千円)	2,051	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
				630			1,421			
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進								
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進								
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。									
事業の実績等	○ 小学校においては、児童・教職員・保護者とも不登校傾向児童に係る相談が多かった。また、教職員の学校・学級に関する相談が多くみられる。中学校においても、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係に関する相談が多い。									
	○ 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。									
	学校名	児童(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)	学校名	生徒(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)
	中原小	23	13	33	94	中原中	45	7	13	72
	北茂安小	3	27	61	94	北茂安中	31	17	13	72
	三根東小	7	17	17	91	三根中	16	1	8	140
三根西小	9	19	8	91	計	92	34	25	284	
計	52	76	119	370						
○ 小学校分は町費、中学校分は県費より直接支出										
事業の成果等	自己評価	昨年度に比べると、小学校では、全体的に相談件数が増加しており特に教職員の相談が増加している。中学校では、昨年と比較すると全体的に減少しているが、特に教職員の相談件数は1/2以下となっている。引き続き当該事業を活用し、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育における細かな対応に努めていきたい。また、カウンセラー指導助言により、学校と家庭との連携をさらに充実させ、問題行動に対する未然防止や事後カウンセリングを引き続き行い安定した教育環境の確立を図っていきたい。								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分									
評価委員	評価結果	指 摘 事 項								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	小学校での相談が増加しているようだが、理由があるのか。また、教員からの相談も小学校は多いが、どういうことか。								
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等									
	子どもたちを取り巻く環境の変化により、問題も児童生徒だけでなく保護者からの相談も増え家庭教育を含め相談に乗っている。人間関係をうまくコントロールできない、また、コミュニケーション能力の不足による問題が増加していると思われる。今後もっとこの事業の充実を図りたい。									

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	10,182	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,182
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	教諭補助事業・・・中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。 また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。						
事業の実績等	<p>○ 教諭補助事業 決算額 10,181,640 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置）</li> <li>・中原中学校2名（社会・体育） 北茂安中学校2名（数学・英語）</li> <li>三根中学校2名（国語・体育）</li> <li>・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	教諭補助員を配置したことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応ができたことで、個々の学力が向上できたと思われる。また、問題行動等においても教諭支援を行い、落ち着いた学校生活ができています。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	不登校児童生徒対策として、教育委員会に『フリースクール』を開校し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	5,670	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							5,670
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 利活用を円滑に進める環境づくりとして、教員の ICT 活用を支援する「ICT 支援員」を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○ ICT支援員配置事業 決算額 5,669,928 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3中学校に各1名の配置）</li> <li>・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなど教員の指導を支援する。 デジタル教材について、情報を収集し紹介するとともに、それらの効果的な活用方法や指導案・指導計画づくりについて教員に助言を行っている。 情報モラルやインターネット上の有害情報等の問題については、情報サービスの変化・多様化や、その中で児童生徒がこれまでなかったような被害に遭うケースの出現も考えられることから、最新の情報をもつ ICT 支援員の役割は重要である。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						



事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	12,274	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				48			12,226
基本 方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の 内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の 実績等	<b>【要保護児童生徒】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1名 中学校 2名 計3名</li> <li>・修学旅行費（実費）のみの支給</li> <li>・支給総額 小学校 11,691円 中学校 85,039円</li> </ul>						
	<b>【準要保護児童生徒】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 94名 中学校 65名 計 159名</li> <li>・認定者数は、年々増加。(H24年度：159名、H23：161名、H22年度：150名、H21年度：140名、H20年度：118名)</li> <li>・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。</li> <li>・支給総額 小学校 5,881,054円 中学校 6,295,715円</li> <li>・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。随時申請も受け付けている（扶助費は月割）</li> </ul>						
事業の 成果等	自己評価	準要保護児童生徒の増加は、景気が不安定な中にあり、また離婚等によるひとり親家庭が年々増加していることが主な原因である。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	学校給食費等滞納者にあつては、学校・給食センターと教育委員会で協議しながら申請を提出いただいている。就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上ができればと思っているところである。					
評 価 委 員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	認定事務が大変難しいと思うが、どのようにして認定しているのか。 援助者の児童生徒全体に占める割合はどの程度か。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	生活扶助認定基準を準用し世帯の所得や家庭の状況を総合的に勘案し、教育委員会の中で判定している。今後も基準に基づき公正に判定していきたい。 援助者の全体に占める割合は8.5%となっている。						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	1,680	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						1,680					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高校又は大学（短大・専修学校）に在学（進学）する者の中で、学業優秀や身体強健等で勉学の意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学生 月額20,000円 / 高校生 月額10,000円 の貸付</li> <li>○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子</li> <li>○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円, 人)</li> </ul>										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成22年度	2,000		1	3	0	3	1	5	1,320	1,360
	平成23年度	2,000		1	5	1	1	2	6	1,680	1,680
	平成24年度	2,000	368	2	6	1	2	2	6	1,680	2,368
平成25年度	2,000	546	2	6	0	2	2	6	1,680	3,234	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。平成25年度は5/16に開催し、高校生0名・大学生1名の採用をした。</li> <li>○ 返済については、平成24年度より3名、25年度より1名の償還が始まった。6年以内で月賦又は年賦で返済する。</li> </ul>											
事業の成果等	自己評価	育英資金貸付事業の開始から6年目である。町広報の2・3月号に掲載をして募集を行い、12名の奨学生へ貸付を行った。平成24年7月から3名、25年7月1名の償還が開始され、償還計画どおり償還がなされている。現在の貸付者は8名である。申請者においては、佐賀県等や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。返済が開始しても貸付の方が多いため、積立等をしながら基金を賄っていく状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	指 摘 事 項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等										

事業名	学校給食センター事業		所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																			
			費目	給食センター費																					
事業費 (千円)	22,795	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																		
							22,795																		
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																							
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																							
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間196回の給食を提供する。																								
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生3名 中学生1名)</li> <li>○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(7月25日)</li> <li>○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。</li> </ul> <p>*給食センター稼働回数 196回 (台風の影響により休校のため、1回中止になった)</p>																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>年間回数</th> <th>児童数</th> <th>職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>191</td> <td>172</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>191</td> <td>177</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>189</td> <td>189</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>中原中学校</td> <td>189</td> <td>230</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	年間回数	児童数	職員数	三根東小学校	191	172	20	三根西小学校	191	177	17	三根中学校	189	189	25	中原中学校	189	230	24			
学校名	年間回数	児童数	職員数																						
三根東小学校	191	172	20																						
三根西小学校	191	177	17																						
三根中学校	189	189	25																						
中原中学校	189	230	24																						
事業の成果等	自己評価																								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。</li> <li>○給食費が4件(過年度分)、現年度に徴収できなかった。</li> </ul>																							
評価委員	評価結果	指摘事項																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																								

事業名	放課後児童健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	児童福祉総務費		
事業費 (千円)	29,231	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				14,947		6,809	7,475
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	放課後児童に集団生活を体験させ、遊びを中心とした生活指導を通じて児童の健全育成を図るものとする。また、夏期休業中は地域住民との交流活動として各種団体（老人クラブ、ボラ連、民生委員等）の協力を得て、運動、食育、昔遊び等の活動を実施する。						
事業の実績等	○ 児童クラブ受け入れ状況 放課後の時間に保護者等が家庭にいない小学校1年生～3年生の児童が対象、夏期休業中については、4年生～6年生も受け入れる。また、特別な事情で利用を必要とする4年生以上の児童についても放課後の受け入れを行う。						
	児童クラブ名	設置場所	利用児童数(放課後)1～3年生	利用児童数(放課後)4年生以上	利用児童数(夏休み)1～6生	待機児童数	
	ひまわり児童クラブ	中原小学校敷地内	74	7	115	0	
	北茂安児童クラブ	北茂安小学校敷地内	78	2	130	0	
	三根東児童クラブ	三根東小学校敷地内	22	4	41	0	
	三根西児童クラブ	三根西小学校敷地内	28	2	52	0	
	計		202	15	338	0	
事業の成果等	自己評価	放課後留守家庭の児童の安全で健やかな活動場所を確保し、遊びや集団生活を通して子どもの健全育成活動ができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	児童クラブ運営に関しては、学校・地域と連携し情報の共有を行い、指導員の確保・資質向上にも努め円滑に進めることができた。 平成26年度から児童クラブの利用対象児童を6年生までに拡充し子ども・子育て支援の充実を図るため、各児童クラブの施設整備を行った。					
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	放課後児童クラブ施設整備事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	児童福祉総務費		
事業費 (千円)	246,999	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				86,016	154,000		6,983
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	現在の小学校1年生から3年生まで受入れを4年生から6年生までの高学年に拡大し、町内の児童が誰でも利用できるようにすることや、施設のバリアフリー化等により子育て世代のニーズに対応するために、新たな放課後児童クラブ施設の建設を行った。						
事業の実績等	<p>○放課後児童クラブ施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり児童クラブ 建築面積 371.00㎡ 木造瓦葺平屋建</li> <li>・しげやす児童クラブ 建築面積 351.20㎡ 鉄骨造鋼板葺平屋建</li> <li>・ちくし児童クラブ 建築面積 189.00㎡ 木造瓦葺平屋建</li> <li>・いずみ児童クラブ 建築面積 189.00㎡ 木造瓦葺平屋建</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	施設を整備したことにより、高学年の受け入れや事業時間の延長、施設のバリアフリー化等により子育て世代のニーズに答えることができた。町全域で、放課後児童健全育成事業が実施でき、犯罪等から児童の安全確保が可能となり、安心して子供が育てられる環境となった。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	3,301	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							3,301
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成指導員については、各地区1名の計57名に委嘱して、校区ごとに月1回程度指導員会議を開催し、地域での活動や現状報告を行い青少年の育成に取り組んだ。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、小・中学校の現状や教育委員会の取組み等を報告し、地域住民との意見交換を行った。（26地区実施）</li> <li>・青少年育成町民会議においては、地区内で取り込まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施。（47地区助成）</li> <li>・広報啓発事業として、「少年の主張」文集を作成し各世帯に配布した。</li> <li>・小中学校交流主張会を10、11月に校区ごとに開催した。</li> <li>・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。</li> <li>・組織強化として、隊長会議を年2回開催しあいさつ運動の推進や交通防犯講話を実施した。また、山口県下関市に先進地視察を行い様々な取組みを参考にして活動の充実を図っている。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	地域において子どもと大人が一緒になって参加する体験活動やふれあい活動を推進することにより、青少年育成の充実を図ることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが犯罪に巻き込まれるような事件を未然に防いでいる。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	2,015	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							2,015
基本方針	重点目標	地域住民の交流を図り親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>						
事業の実績等	<p>○34地区 37名登録（400世帯を超える行政区は、1人増員可）  ・中原校区 8地区10名 ・北茂安校区 11地区12名 ・三根校区 15地区15名</p> <p>○活動内容  ・交流事業 世代間交流 花見 そば打ち 餅つき ぜんざい会 ウォーキング 等  ・各種教室 料理教室 菓子作り ゴキブリ団子作り バルーンアート作り 等  ・奉仕活動 花壇の花植え 草取り ごみ拾い 資源回収 夏休み寺子屋 等  ・研 修 工場見学 視察研修 ふるさと探訪 神社等見学 等  ・地区行事サポート 敬老会 町民体育大会 その他地区行事</p>						
事業の成果等	自己評価	推進員の活動により、女性だけでなく、男性、子ども等の参加によって、地域住民の交流を行うことができ地区の親睦と連携の強化がなされた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	町全域57地区の内、34地区の設置である。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	町内57地区のうち34地区に設置しているが全地区に設置しないのか。34地区以外の地区はどのような活動をなされているのか。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	<p>地区推進員については、区長の推薦により設置されるものである。</p> <p>今後、未設置地地区については、区長会で説明し協力を求める。また、教育委員会だより、町の広報紙等によりいきいき女性クラブのすばらしさをPRして、より多くの地区が設置されるよう努めていきたい。</p>						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	1,088	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			362	362			364
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○ 4月～翌年2月にかけて、原則毎月第1、第3土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを各校区において実施した。また、夏休み期間中も、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子どもたちが参加した。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、手芸、英語、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
	放課後子ども教室名		開催回数	夏休み子ども 教室開催回	参加者数	延べ参加者	
	中原風っ子元気スクール		18回	14回	220名	1,198名	
	茂安っ子いきいきスクール		18回	12回	157名	730名	
	三根わくわくスクール		18回	12回	124名	873名	
	計		54回	38回	501名	2,801名	
事業の成果等	自己評価	放課後子ども教室を実施したことで、子どもたちの安全で健やかな居場所を提供でき、小学1年生から6年生までの異年齢間の交流も図ることができた。さらに、小学校の授業では学べない知識の習得や経験ができた。また、地域の方々が指導員として参加していただいたことで子どもたちとの交流も深められた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						



事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当		
				費目	公民館費				
事業費 (千円)	717	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
						638	79		
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成							
	主要施策	生涯学習の環境づくり							
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進を図る。								
事業の実績等	各校区における公民館事業の実施状況								
	区分	事業の種類			回数	参加者数（人）			
						男	女	計	
	中原校区	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座			19回	86	214	300	
	北茂安校区	みやき塾（北茂安編）、佐賀の歴史講座、ipad 教室、アロマ教室、エコクラフトバッグ作り教室、ガーデニング教室、ストレッチ・リンパマッサージ教室、生け花教室、パソコン教室			28回	243	519	762	
	三根校区	みやき塾（三根編）、生きがい講座			7回	27	209	236	
	計				54回	356	942	1,298	
事業の成果等	自己評価	住民のニーズに対応する講座・教室を開催することで、生涯学習の情報提供、環境づくりが実施できた。今後も参加者を増やすために努めていきたい。また、介護予防事業と連携した高齢者向けの講座を行い、多くの高齢者が楽しんで講義を受けられた。高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援した。							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分								
評価委員	評価結果	指摘事項							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等								

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目		図書館費	
事業費 (千円)	2,400	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	1,900
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	町民が知りたい読みたい資料を購入及び他館より借受け提供し、町民の知的要求に応え、生活の向上を助ける。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	25年度末	51,089	20,593	1,714	2,799	76,195	
	内25年度受入分	(1,202)	(524)	(106)	(434)	(2,266)	
	○ 貸出実績						
	開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数			
	277日	20,710人	91,452点	330点			
○ リクエスト、レファレンスサービス							
・ リクエスト 予約件数 2,210件 (貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び他館より借受で対応)							
・ レファレンス 729件 (読書相談、調べものに対応)							
○ 図書館蔵書検索システム導入事業により、平成21年10月1日よりインターネット蔵書公開を開始している。							
事業の成果等	自己評価	インターネット蔵書公開により、町民により早く新着資料情報を提供できるようになり、サービスの向上に繋がった。町民の日常情報サービスの場として、生涯学習の場として、郷土の歴史や文化を学ぶ場としての充実を行った。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	9,273	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			3,955	1,423			3,895
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業、県・町指定史跡の維持管理事業、文化財の啓発活動事業など。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成25年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：72件 うち確認調査実績件数：45件（45件中、7件で遺跡を確認し、5件が設計変更等により遺跡が保護された。一方2件が記録保存のための本調査（受託事業）へ移行した。） 本調査実施（山田遺跡、大塚遺跡）</li> <li>○ 県指定史跡—4ヶ所、町指定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施した。</li> <li>○ 歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。 ・歴史講座—全9回で総計685名 前年度比較163名増</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開発に伴う確認調査及び本調査を実施することにより、みやき町の歴史の証しである埋蔵文化財と開発との調整を図ることができた。</li> <li>○ 史跡維持管理は、除草作業を行い、景観美化に努めることができた。</li> <li>○ 啓発活動の歴史講座については好評を得ており、郷土の文化財への理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。</li> </ul>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	987	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							987
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。						
事業の実績等	<p>○ 全国大会 小学生卓球(兵庫県 1名) 小学生空手(東京都 4名) バウンドテニス(東京都 2名) 硬式テニス(神奈川県 2名) 小学生剣道(東京都 6名) 中学生空手(長野県 5名・北海道 2名) 中学選抜バレー(大阪府 2名) 硬式テニス(東京都 1名) 小学生チアダンス(東京都 1名) 中学生剣道(兵庫県 8名) 中学生フットサル(福岡県 1名) 中学生水泳(東京都 2名) 中学生陸上(神奈川県 2名)</p> <p>小計 39名 607千円</p> <p>○ 九州大会 小中学生水泳(熊本県 11名) 女子サッカー(宮崎県 1名) 小学生卓球(熊本県 2名) 中学生サッカー(佐賀県 1名) 小学生バレー(沖縄県 13名) 小学生新体操(鹿児島県 1名) ハンドボール(鹿児島県 1名) 中学選抜女子野球(熊本県 2名) ラグビー(佐賀県 1名) 中学生フットサル(鹿児島県 1名) 小学生選抜女子サッカー(佐賀県 1名)</p> <p>中学選抜剣道(熊本県 6名) 小学生サッカー(長崎県 4名)</p> <p>小計 45名 380千円</p> <p>合計 のべ 84名 987千円 (前年度 74名 891千円)</p>						
事業の成果等	自己評価	昨年と比較して全国大会では、出場者数 2 名の増、金額 45 千円の減 (開催地の関係)、九州大会では、出場者数 8 名の増、金額 141 千円の大幅な増加となった。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						



事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
			費目	保健体育費		
事業費 (千円)	1,800	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 1,800
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興				
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興				
事業の内容等	スポーツ・レクリエーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。					
事業の実績等	<p>○ 中原校区町民体育大会 事業費 600 千円 参加人数 幼児 99 人、小中学生 190 人、一般 950 人 合計 1,239 人 得点種目(分館対抗)4 種目、リレー種目 7 種目、レクリエーション種目 11 種目で開催された。</p> <p>○ 北茂安校区町民体育大会 事業費 600 千円 参加人数 幼児 117 人、小中学生 337 人、一般 1,616 人 合計 2,070 人 得点種目(分館対抗)5 種目、リレー種目 2 種目、レクリエーション種目 9 種目で開催された。</p> <p>○ 三根校区町民体育大会 事業費 600 千円 参加人数 幼児 5 人、小中学生 316 人、一般 1,786 人 合計 2,107 人 得点種目(分館対抗)6 種目、リレー種目 4 種目、レクリエーション種目 7 種目で開催された。</p>					
事業の成果等	自己評価	当日は晴天に恵まれ、孫からおじいちゃん、おばあちゃんまで各世代が一緒になって大きな事故もなく競技することができた。 極端にプログラムを変更すると参加者も戸惑うため、バランスを調整し全ての校区において、一部種目変更等を行い実施した。				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分					
評価員	評価結果	指 摘 事 項				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。				
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					

事業名	各種スポーツ大会等開催事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	462	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							462
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5/26 第 17 回佐賀県さわやかスポーツレクリエーション祭</li> <li>○ 6/30 第 9 回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 37 チーム 523 名の参加(1 位 中原→山田・箕原、北茂安→白石・西尾、三根→西分)</li> <li>7/7 第 9 回分館対抗女子ミニバレーボールみやき町大会 12 チーム 165 名の参加(1 位 白石・西尾、2 位 山田・箕原、3 位 東尾、中東・中西)</li> <li>○ 9/13 第 8 回分館・クラブ対抗ナイタースーパーキックベースボール大会 12 チーム 144 名の参加(Aパート 1 位グリモン、Bパート 1 位 北茂安小教員)</li> <li>○ 10/27 第 1 回分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 23 チーム 211 名の参加(1 位 白壁、2 位 石貝)</li> <li>○ 11/8 登山教室 大分県 久住山 25 名の参加</li> <li>○ 11/11～22 第 8 回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 14 チーム 178 名の参加(Aクラス 1 位白石、Bクラス 1 位東大島、Cクラス 1 位ハッピーズ)</li> <li>○ 3/4、3/11、3/18 ニュースポーツ教室 室内パタゴ、ダーツ、シャフルボード、スポーツテニス等 延 50 人参加</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	開催内容の大会・教室において、参加者数に多少の変動はあるが、安定した参加が見られている。分館対抗男子スポーツボール大会が一昨年昨年と 2 年連続で降雨の為中止になったため、室内競技であるアジャタ(スポーツ玉入れ)大会を初めて実施した。参加者からはタイム競技のため見た目より体力が必要であるとの意見が多かったが、概ね好評であった。大会前に体験会を一度実施したが、より多くの参加につなげていくため今後も周知・普及に努めたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取り組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	北茂安 B&G 海洋センター 教室開催等事業		所管課	社会教育課	担当	北茂安 B&G 海洋センター担当																				
			費目	B&G 海洋センター費																						
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																			
基本方針	重点目標	町民総スポーツの振興とたくましい心身の育成																								
	主要施策	競技スポーツの振興																								
事業の内容等	町民への水泳及び水中運動を対象者毎に開催し、B&G 海洋センターの周知及び利用促進を図る。																									
事業の実績等	<p>22 年度より B&amp;G 財団が推進している「水の事故ゼロ運動」の一環として、「水辺の安全講習」を導入し、松若幼稚園園児と新町子どもクラブへの水難防止訓練を行った。主な内容としては、子ども達にわかりやすい水難防止の紙芝居やフロートによる水慣れ等の講習を行い、溺れている人を見たらすぐに他の大人を呼びに行く事を集中して教え、ライフジャケット着用体験や、ペットボトルでの救助体験等の中身が濃い教室を行った。子どもの水の事故を防ぐ教室として有効であると考えてるので、子ども向けの各種教室を本年度も引き続き行い水の事故をなくす事を目的としながら、B&amp;G 海洋センターの周知を徹底し利用促進につなげたい。</p>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>対象者</th> <th>開催回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松若幼稚園水難防止訓練</td> <td>松若幼稚園年中児</td> <td>1回</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>松若幼稚園水難防止訓練</td> <td>松若幼稚園年長児</td> <td>2回</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>新町子どもクラブ水辺の安全教室</td> <td>新町子どもクラブ (小学生)</td> <td>1回</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>4回</td> <td>87名</td> </tr> </tbody> </table>							教室名	対象者	開催回数	参加者数	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年中児	1回	9名	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年長児	2回	48名	新町子どもクラブ水辺の安全教室	新町子どもクラブ (小学生)	1回	30名	合 計		4回
教室名	対象者	開催回数	参加者数																							
松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年中児	1回	9名																							
松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年長児	2回	48名																							
新町子どもクラブ水辺の安全教室	新町子どもクラブ (小学生)	1回	30名																							
合 計		4回	87名																							
事業の成果等	自己評価	町内にも水路や河川等の危険な場所が多数存在しており、子どもの救助による2次事故を防止するため「溺れている人が居ても、水に入って行かない。大人の人を呼びに行く。」と言う事を集中して教え、子どもの水難防止への意識向上を図る事が出来た。																								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																									
評価委員	評価結果	指 摘 事 項																								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	利用者が増えるように子どもクラブ等で宣伝したほうがよいのではないか。																								
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																									
	今後 B&G 海洋センターの指定管理制度移行も踏まえ、指定管理者側と協議を行い、また各校区の子どもクラブ会議時に周知等に努め、利用者の増加を図っていきたい。																									